
「新生児慢性肺疾患の発症・重症化を予測するための胸部レントゲン画像を用いた人工知能システムの開発」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの胸部レントゲン画像を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2013年4月1日から2021年10月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター小児科新生児部門に入院した超早産児（在胎期間28週未満）の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

現在、超早産児の呼吸器疾患である新生児慢性肺疾患の発症・重症化や長期の呼吸器予後を早期に予測することは困難です。本研究では、生後早期の胸部レントゲン画像を用いた人工知能により、超早産児の新生児慢性肺疾患の発症・重症化や長期呼吸器予後を予測する人工知能システムを開発することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である難波 文彦が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査を実施した際に生じた、胸部レントゲン画像、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦（研究代表者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター 小児科 芳賀 光洋
- ・埼玉医科大学総合医療センター 小児科 宮原 直之

・兵庫県立大学 工学研究科 小橋 昌司

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

<提供先機関> 兵庫県立大学

5. 試料・情報の提供方法等について

・パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3622（水土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：nambaf “ AT ” saitama-med.ac.jp（“ AT ” を@に置き換えてください）

○研究課題名：新生児慢性肺疾患の発症・重症化を予測するための胸部レントゲン画像を用いた人工知能システムの開発

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦